

電子納品等運用ガイドライン【土木工事編】

項目(番号は改定前)	旧		新		理由
	頁	内容	頁	内容	
年月	表紙	平成 22 年 9 月	表紙	平成 28 年 3 月	改定版発行
改定履歴	表紙裏		表紙裏	要領・基準名称：電子納品運用ガイドライン【土木工事編】 平成 28 年 3 月 備考：平成 28 年 3 月 初版発行	本改定版の追加
1. 1. 位置づけ	1	電子納品運用ガイドライン(案)【業務編】 CAD 製図基準に関する電子納品運用ガイドライン(案) 電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】	1	電子納品運用ガイドライン【業務編】 CAD 製図基準に関する電子納品運用ガイドライン 電子納品運用ガイドライン【測量編】	最新のガイドラインに変更
1. 2. 適用する事業	2	港湾事業、官庁営繕事業、電気通信設備、機械設備工事に関しては、次のガイドラインを参照してください。 ・港湾・海岸・空港事業 地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品運用ガイドライン（案） ・官庁営繕事業 官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン（案） ・電気通信設備 電子納品運用ガイドライン（案）電気通信設備編 ・機械設備工事 電子納品運用ガイドライン（案）機械設備工事編	2	港湾事業、官庁営繕事業、電気通信設備、機械設備工事に関しては、次のガイドラインを参照してください。 ・港湾・空港事業 地方整備局（港湾空港関係）の事業における電子納品運用ガイドライン【工事編】 ・官庁営繕事業 官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕工事編】 ・電気通信設備 電子納品等運用ガイドライン【電気通信設備工事編】 ・機械設備工事 電子納品等運用ガイドライン 機械設備工事編【工事】	最新のガイドラインに変更
1. 3. 図 1-2	3	CAD 製図基準(案) CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案)	3	CAD 製図基準 CAD 製図基準に関する運用ガイドライン	最新の要領・基準・ガイドラインに変更
1. 3. 図 1-2	3		3	ICONフォルダの追加	ICON の追加
1. 3. 本ガイドラインに係わる基準類の関係	3	(3)CAD製図基準(案)	3	(3)CAD製図基準	最新の基準に変更
1. 3. 本ガイドラインに係わる基準類の関係	4	(6) CAD 製図基準に関する運用ガイドライン(案) CAD 製図基準(案)	4	(6)CAD 製図基準に関する運用ガイドライン CAD 製図基準	最新の要領・基準・ガイドラインに変更
1. 3. 本ガイドラインに係わる基準類の関係	4		4	(10) i-Construction関連要領等 i-Constructionに係るデータの作成、格納方法を示すため作成したものです。	ICON の追加

1. 4. 問い合わせ	5	国土交通省「CALS/EC電子納品に関する要領・基準」Webサイト	5	国土交通省「電子納品に関する要領・基準」Webサイト	サイト名の更新
1. 4. 問い合わせ	5	(2)電子納品に関する「Q&A」 http://www.cals-ed.go.jp/qa_sys/admin/q_a_index.htm (3)電子納品ヘルプデスク http://www.cals-ed.go.jp/qa_sys/admin/index_helpdesk.htm	5	(2)電子納品に関する「Q&A」 http://www.cals-ed.go.jp/inq_qanda/ 電子納品ヘルプデスク http://www.cals-ed.go.jp/inq_helpdesk/	URLの更新
(3)電子媒体	6	本ガイドラインにおける電子媒体とは、CD-RまたはDVD-Rを指します。	6	本ガイドラインにおける電子媒体とは、CD-R、DVD-RまたはBD-Rを指します。	BD-Rの追加
脚注	6	CAD製図基準(案) 土木設計業務等の電子納品要領(案) 測量成果電子納品要領(案)	6	CAD製図基準 土木設計業務等の電子納品要領 測量成果電子納品要領	最新の要領に変更
図1-4	7	平成21年6月版から平成22年9月版への変更	7	平成22年9月版から平成28年3月版への変更 (i-Constructionの追加)	ICONの追加
1. 6. 電子成果品とする 対照書類の考え方	7	上記ア)イ)に該当する電子成果品は以下のとおりです。 ・施設管理台帳データなど(台帳) ・CADデータ(工事完成図) ・地質データ(地質・土質調査成果)	7	上記ア)イ)に該当する電子成果品は以下のとおりです。 ・施設管理台帳データなど(台帳) ・CADデータ(工事完成図) ・地質データ(地質・土質調査成果) ・i-Constructionデータ	ICONの追加
図1-5	8		8	ICONフォルダの追加	ICONの追加
脚注	8	※6 INDEX_C.XMLは、INDE_C05.DTDとともに電子媒体のルートに格納します。なお、国土交通省「CALS/EC電子納品に関する要領・基準」Webサイトには、DTD、XML出力例があり、ファイルが取得できます。	8	※6 INDEX_C.XMLは、INDE_C05.DTDとともに電子媒体のルートに格納します。なお、電子納品Webサイトには、DTD、XML出力例があり、ファイルが取得できます。	サイト名の更新
脚注	9	CORINS	9	コリンズ	名称の変更
表1-2	10		10	ICONフォルダの追加	ICONの追加
(1)発注図フォルダ (DRAWINGS)への発注 図の格納	16	「CAD製図基準(案)」に準拠した	16	「CAD基準」に準拠した	表現の統一
図4-2	18		18	ICONフォルダの追加	ICONの追加

5.1. 作業の流れ	20	CAD データは SXF ブラウザ等により目視確認します。	20	ICONフォルダの追加 CADデータはSXFビューア等により目視確認します。また「発注用レイヤ」が残っていないことを確認します。	ICON の追加 SXF ブラウザの公開停止 「発注用レイヤ」を残さないことの確認
5.2.1. 工事管理ファイルの作成 図 5-2 工事管理ファイル及び DTD	21	図 5-2 中 http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm	21	図 5-2 中 http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/	URL の変更
5.2.2. コリンズと共通する項目の記入について	21	<p>工事管理ファイルのCORINS に関する項目の記入については、電子納品Web サイトの「CORINS 資料」を参照し記入します。 http://www.cals-ed.go.jp/calsec/corins.htm</p>  <p>図 6-3 CORINS 資料のページ</p> <p>図 5-3 CORINS に関する資料ページ</p>	21	5.2.2. 各コード類に関する項目の記入について 各コード類に関する項目の記入については、電子納品Webサイトを参照して記入します。 http://www.cals-ed.go.jp/cri_otherdoc/	表現の変更 図 5-3 削除 以下図番号繰上げ
5.2.5. 境界座標の記入について	23	<p>「境界座標」の測地系は、世界測地系（日本測地系2000）に準拠します。境界座標を入手する方法としては、国土地理院Webサイトのサービスを利用する方法があります。 「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」ホームページ※14 http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html を利用して境界座標を取得する方法は次のとおりです。</p>	23	<p>「境界座標」は、世界測地系（JGD2011）に準拠します。ただし、境界座標を JGD2000 の測地系で取得した場合には、JGD2011 の座標に変換する必要はありません。境界座標を入手する方法としては、国土地理院 Web サイトの以下のサービスを利用する方法があります。 「測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス」※14 http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html を利用して境界座標を取得できます。</p>	世界測地系（JGD2011）への変更に伴う解説。 サイトの変更。
図 5-5 図面管理ファイル及び DTD	24	図 5-5 中 http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm	24	図 5-4 中 http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/	URL の変更

5.3.3 図面ファイルの命名	25	ア) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とします。 イ) 格納時のファイル名は「COXX001Z.P21」～「COXXnnnZ.P21」とします。	25	ア) ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とします。 イ) 格納時のファイル名は「COXX001Z.P21」～「COXXnnnZ.P21」とします。 ※P21形式を圧縮したP2Z形式も使用可能です。	P2Z形式の説明追加
5.4.1. 台帳ファイルの格納	26	ただし、道路施設基本データに関しては、当面は従来どおり「道路工事完成図等作成要領」に基づき、	26	ただし、道路施設基本データに関しては、「道路工事完成図等作成要領」に基づき、	「当面は従来どおり」を削除
図 5-10 その他管理ファイル及びDTD	29	図 5-10 中 http://www.cals-ed.go.jp/index_denshi.htm	29	図 5-9 中 http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/	URLの変更
その他オリジナルファイルの命名	29	イ) ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とします。なお、現在、一般的に利用されているWindows等では、拡張子に3バイト以上の文字が扱えるようになっています。しかし、電子媒体作成のフォーマットは、IS09660レベル1と定められ、3バイト以上の文字が扱えないため、拡張子が3バイトになるように留意してください。	29	イ) ファイル名8文字以内、拡張子3文字以内とします。オリジナルファイルは拡張子が4文字のファイルでも拡張子そのまま格納できます。	オリジナルファイルは4文字の拡張子のファイルを格納可能とするため、フォーマットを変更。拡張子を3バイトにする記述を変更
5.7. i-Construction 成果 【ICON】 新規追加	31		31	5.7. i-Construction 成果 【ICON】 i-Constructionデータのフォルダ及びファイルの格納イメージはi-Construction 関連要領等を参照してください。	ICON 追加 移行項番号繰り下げ
5.7.1. 一般事項 脚注	31	SXF ブラウザ等※15 ※15 SXF ブラウザ等とは、SXF ブラウザ及び「SXF 表示機能及び確認機能要件書(案)」に基づいて開発された民間のSXFビューワのことをいいます。SXF ブラウザは、電子納品Web サイトから取得できます。また、民間のSXF ビューワは、オープンCAD フォーマット評議会(OCF)のホームページにSXF確認機能検定の機能要件が認証されたソフトウェアが公表されていますので、これを参考に入手してください。	31	SXF ビューア※15 ※15SXF ビューア等は、SXF 表示機能及び確認機能要件書(案)(平成21年3月)に従って開発され、OCF 検定に合格した SXF 形式の図面データが閲覧可能な閲覧ソフト及び CAD ソフトです。オープンCAD フォーマット評議会のWeb サイトにある OCF 検定認証ソフト一覧(以下の URL)で SXF ビューアが紹介されています。 http://www.ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran.shtml SXF ブラウザ等が2014年4月9日をもって提供を終了したことから、今後、SXF データの表示や印刷等は、SXF ビューア等を利用してください。	SXF ブラウザの公開停止への対応
図 5-14 電子納品チェックシステムを用いた電子成果品のチェック	32	図5-14中 http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm	32	図5-13中 http://www.cals-ed.go.jp/edc_download/ ICON フォルダ追加	URLの変更 ICON の追加

(2) 電子納品チェックシステムによる管理ファイルのチェック	33	<p>ア) b) 境界座標の経度・緯度の確認（「(3)経度・緯度のチェック」参照</p> <p>イ) b) 基準点情報の経度・緯度の確認（基準点情報が経緯度座標で記入されている場合のみ、「(3)経度・緯度のチェック」参照）</p>	33	<p>ア) b) 境界座標の経度・緯度の確認（「(3)境界座標の経度・緯度のチェック」参照</p> <p>イ) b) 基準点情報の経度・緯度の確認（基準点情報が経緯度座標で記入されている場合のみ、「(4)基準点情報の経度・緯度のチェック」参照）</p>	電子納品チェックシステムの機能改良に伴い、経度・緯度のチェックの説明について境界座標と基準点情報を別にした。
(3) 経度・緯度のチェック	33		33	<p>(3)境界座標の経度・緯度のチェック 受注者は、電子成果品の作成後、業務管理ファイルに記入されている境界座標の経度・緯度情報について確認を行います。 経度・緯度情報のチェックは、電子納品チェックシステムの位置チェック機能を利用します。</p>  <p>図 5-14 電子納品チェックシステム位置チェック機能</p>	電子納品チェックシステムの機能改良に伴い、境界座標のチェックについて説明を追加 以下図番号繰り返し下げ
5.7.2. 電子成果品のチェック (3) 経度・緯度のチェック	33	<p>(3) 経度・緯度のチェック</p> <p>ア) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgsv.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html イ) 地図閲覧サービス http://watchizu.gsi.go.jp/</p>	33	<p>(4) 基準点情報の経度・緯度のチェック</p> <p>ア) 測量成果電子納品「業務管理項目」境界座標入力支援サービス http://psgsv2.gsi.go.jp/koukyou/rect/index.html イ) 地理院地図（電子国土Web） http://maps.gsi.go.jp/</p>	URL の変更 参照するサイトの変更
(6) 「道路工事完成図等作成要領」に従った電子成果品のチェック	34	詳細は、「道路工事完成図等作成要領」をご参照ください。	35	詳細は、「道路工事完成図等作成要領」を参照してください。	表記統一

5.7.3. 電子媒体への格納	35	使用する電子媒体は、基本的にCD-R とします。CD-R の容量に関する規定は特にありませんが、通常流通していない媒体（650MB、700MB 以外の媒体）を使用する場合は、使用の是非を監督職員と受注者の協議により決定してください。また、電子媒体が複数に渡る場合は、発注者と受注者の協議によりDVD-R を使用することも可能です。	36	使用する電子媒体は、基本的にCD-RまたはDVD-Rとします。CD-R の容量に関する規定は特にありませんが、通常流通していない媒体（650MB、700MB 以外の媒体）を使用する場合は、使用の是非を監督職員と受注者の協議により決定してください。また、データが大容量となる場合には、発注者と受注者の協議によりBD-R を使用することも可能です。	基本的に使用可とする媒体を CD-R または DVD-R とする。協議により BD-R も使用可とする。
5.7.3. 電子媒体への格納	35	なお、CD-Rのフォーマットの形式は、ISO9660（レベル1）とし、DVD-Rのフォーマットの形式はUDF（UDF Bridge）、とします。	36	なお、CD-R のフォーマットの形式は、Joliet とし、DVD-R のフォーマットの形式は UDF（UDF Bridge）、BD-R のフォーマットの形式は UDF 2.6 とします。	オリジナルファイルは 4 文字の拡張子のファイルを格納可能とする。 BD-R の追加
図 5-16	35		36	ICONフォルダの追加	ICON の追加
5.7.5 電子媒体等の表記	36	5.7.5. 電子媒体等の表記 (1) 電子媒体のラベル面の表記 ケ 「フォーマット形式」CD-R の場合は、フォーマット形式・ISO9660（レベル1）を明記。DVD-R の場合は、UDF（UDF Bridge）を明記	37	5.8.5. 電子媒体のラベル面の表記 (1) 電子媒体のラベル面の表記 ケ 「フォーマット形式」CD-R の場合は、フォーマット形式・Joliet を明記。DVD-R の場合は、UDF（UDF Bridge）、BD-R の場合は UDF 2.6 を明記	媒体ケースの背表紙表記の規定廃止に伴い、(1)(2)の別がなくなり、見出し(1)を削除、(1)の内容を見出し5.8.5へ反映 CD-R のフォーマット変更、BD-R の追加
(2) 電子媒体ケースの表記	37	(2) 電子媒体ケースの表記	37	左記項目削除	媒体ケースの背表紙表記の規定を廃止 以下図番号繰り上げ
図 5-19	37		38	ICONフォルダの追加	ICON の追加
図 5-20	38		39	ICONフォルダの追加	ICON の追加
図 5-21 電子媒体納品書（例）	39	ISO9660（レベル1）	40	Joliet	オリジナルファイルは 4 文字の拡張子のファイルを格納可能とするため、フォーマットを変更。

5.8.4. 電子成果品の内容の確認	40	SXFブラウザ等	41	SXFビューア等	SXFブラウザの公開停止
5.8.4. 電子成果品の内容の確認	40	(1) 工事完成図【DRAWINGF】 SXF(P21)形式	41	(1) 工事完成図【DRAWINGF】 SXF(P21)形式もしくはSXF(P2Z)形式	P2Z形式の追加
5.8.4. 電子成果品の内容の確認	40	CADデータがCAD製図基準(案)に基づいて作成	42	CADデータが「CAD基準」に基づいて作成	表現の統一
5.8.4. 電子成果品の内容の確認	41		42	(4) i-Constructionデータ【ICON】 ファイルの格納イメージや、データの構成については、 i-Construction関連要領等を参照してください。	ICONの追加
6.2.1 写真ファイル等の作成	43	黒板の文字が判読できる100万画素程度	44	黒板の文字が判読できる100～300万画素程度	写真管理基準(案)との整合
表6-1	44	[写真区分] = “出来形管理写真” [工種] 必須記入 [種別] 必須記入 [細別] 必須記入	45	[写真区分] = “出来形管理写真” [工種] 必須記入 [種別] 任意記入 [細別] 任意記入	工事要領最新版と整合
図6-2 写真管理ファイル及びDTD	45	図中 http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm	46	図中 http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/	URLの変更
6.3. 工事写真(電子)の電子媒体への格納	48	電子媒体及びケースの表記は、「5.7.5.電子媒体の表記」に準じて作成し、	49	電子媒体及びケースの表記は、「5.8.5.電子媒体のラベル面の表記」に準じて作成し、	媒体ケースの背表紙表記の規定を廃止
7.1. 作業の流れ (4) 工事帳票の出力と工事完成後の保管	49	受注者及び監督職員は、「電子納品要領(工事)」に準拠したフォルダ構成で出力し、瑕疵担保請求期間は電子媒体で保管管理します。	50	受注者及び監督職員は、情報共有システムで管理されたフォルダ構成で出力するか、または「電子納品要領(工事)」に準拠したフォルダ構成で出力し、瑕疵担保請求期間は電子媒体で保管管理します。	土木工事の情報共有システム活用ガイドライン 及び 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 (Rev. 4.0) との整合性を図る
7.2. 施工計画書データ	49	施工計画書は、打合せ簿に添付して提出されることから、工事帳票の一つですが、施工計画書の電子データを情報共有システムから出力する場合は、「電子納品要領(工事)」に準拠した施工計画書フォルダ【PLAN】で出力します。	50	「電子納品要領(工事)」に準拠して出力する場合は、施工計画書は、情報共有システムから施工計画書フォルダ【PLAN】、または打合せ簿フォルダ【MEET】に格納して出力します。 以下の7.2.1～7.2.4は、施工計画書フォルダ【PLAN】に格納する場合の説明です。打合せ簿フォルダ【MEET】に格納する場合は、「7.3 打合せ簿データ【MEET】」を参照してください。	土木工事の情報共有システム活用ガイドライン 及び 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件 との整合性確保

7.2.1. オリジナルデータの格納	50	エ) 監督職員または受注者は、情報共有システムから、施工計画書の電子データを情報共有システムの「電子成果品作成支援機能」により出力します。	51	エ) 監督職員または受注者は、情報共有システムから、施工計画書の電子データを情報共有システムの「 工事書類等出力・保管支援機能 」により出力します。	工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件との整合性確保
図7-1 施工計画書管理ファイル及びDTD	50	図中 http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm	51	図中 http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/	URLの変更
7.2.3. 施工計画書オリジナルファイルの命名	50	ア) ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。なお、現在、一般的に利用されているWindows等では、拡張子に3バイト以上の文字が扱えるようになっています。しかし、電子媒体作成のフォーマットは、ISO9660レベル1と定められ、3バイト以上の文字が扱えないため、拡張子が3バイトになるように留意してください。	51	ア) ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。 オリジナルファイルは拡張子が4文字のファイルでも拡張子はそのまま格納できます。	オリジナルファイルは4文字の拡張子のファイルを格納可能とするため、フォーマットを変更。拡張子を3バイトにする記述を変更
7.3. 打合せ簿データ【MEET】	51	工事打合せ簿の工事帳票を使用することなく、情報共有システムを利用して情報交換・共有されるその他の工事帳票（工事履行報告書、材料確認願、段階確認書、確認・立会願）も、打合せ簿フォルダ【MEET】に格納して出力します。	52	工事打合せ簿の工事帳票を使用することなく、情報共有システムを利用して情報交換・共有されるその他の工事帳票（工事履行報告書、材料確認願、段階確認書、確認・立会願）も、打合せ簿フォルダ【MEET】に格納して出力します。 施工計画書も、打合せ簿に添付した資料として、打合せ簿フォルダ【MEET】に格納することができます。	土木工事の情報共有システム活用ガイドライン及び 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件との整合性確保
7.3.2. 打合せ簿管理ファイルの作成	52	イ) 打合せ簿管理ファイルの作成にあたっては、「管理区分」は工事帳票を整理、検索するための重要な情報となります。「ASP 活用ガイドライン」で定める工事帳票と管理区分の関係に従って、必ず記入してください。	53	イ) 打合せ簿管理ファイルの作成にあたっては、「管理区分」は工事帳票を整理、検索するための重要な情報となります。「 ASP 活用ガイドライン（平成26年7月版）の「表3及び表4 情報共有システムのフォルダ構成と登録する書類」の第一階層のフォルダ名が管理区分に相当します。これらを参考に、必ず記入してください。	土木工事の情報共有システム活用ガイドラインで、工事書類とその管理区分が明確に示されていないことに対する対応
図7-4 打合せ簿管理ファイル及びDTD	52	図中 http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm	53	図中 http://www.cals-ed.go.jp/cri_dtdxml/	URLの変更
7.3.3 打合せ簿オリジナルファイルの命名	52	ア) ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。なお、現在、一般的に利用されているWindows等では、拡張子に3バイト以上の文字が扱えるようになっています。しかし、電子媒体作成のフォーマットは、ISO9660レベル1と定められ、3バイト以上の文字が扱えないため、拡張子が3バイトになるように留意してください。	53	ア) ファイル名・拡張子は半角英数大文字とします。 オリジナルファイルは拡張子が4文字のファイルでも拡張子はそのまま格納できます。	オリジナルファイルは4文字の拡張子のファイルを格納可能とするため、フォーマットを変更。拡張子を3バイトにする記述を変更

7.5. 情報共有システムからの出力	54	これらの工事帳票は、【電子成果品作成支援機能】により出力した工事帳票のデータ項目をもとに電子納品管理ファイル (MEET.XML、PLAN.XML) を作成し、フォルダ構成やファイル名を電子納品要領(工事)の仕様にあったデータ形式で出力します。 ① 工計画書は、施工計画書フォルダ (PLAN フォルダ) に格納します。	55	これらの工事帳票は、【工事書類等入出力・保管支援機能】により、情報共有システムで管理されたフォルダ構成を保持したままファイル出力できる他、「電子納品要領(工事)」の仕様にあったデータ形式で出力することができます。電子納品要領(工事)に従う場合は、工事基本情報や工事帳票のデータ項目をもとに電子納品管理ファイル (INDEX_C.XML、MEET.XML 等) を作成し、フォルダ構成やファイル名を電子納品要領(工事)の仕様にあったデータ形式で出力します。 ①施工計画書は、施工計画書フォルダ (PLAN フォルダ)、または打合せ簿フォルダ (MEET フォルダ) に格納します。	土木工事の情報共有システム活用ガイドライン 及び 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件との整合性確保
8.1.2. 電子成果品の検査 2) 電子成果品のチェック	56	検査職員は、電子媒体納品書及び受注者及び監督職員が最新の「電子納品チェックシステム」を使用して電子成果品を確認した「チェック結果」を確認します。	57	検査職員は、電子媒体納品書及び受注者及び監督職員が最新の「電子納品チェックシステム」を使用して電子成果品を確認した「チェック結果」を確認します。なお、工事写真及び工事帳票は電子成果品ではないことから、これらが格納された電子媒体の「電子納品チェックシステム」を使用したチェックは省略できます。	工事写真、工事帳票が格納された電子媒体の検査の必要性が不明確であることへの対応
図 8-1	57		58	ICONフォルダの追加	ICON の追加
図 9-1	58		59	ICONフォルダの追加	ICON の追加
9.3.1. 情報共有システムからの出力	59	工事完成検査で検査職員の確認を受けた後、発注者及び受注者は、工事帳票の電子データを「電子納品要領(工事)」に準拠したフォルダ構成で情報共有システムから出力します。	60	工事完成検査で検査職員の確認を受けた後、発注者及び受注者は、工事帳票の電子データを、情報共有システムで管理されたフォルダ構成で出力するか、または「電子納品要領(工事)」に準拠したフォルダ構成で情報共有システムから出力します。	土木工事の情報共有システム活用ガイドライン 及び 工事施工中における受発注者間の情報共有システム機能要件との整合性確保
10.2 事前協議チェックシート	61		62	最新の年版を追加 拡張子例 doc, xls に docx, xlsx を追加 「再利用等のため拡張子 (原則 3 文字) を 4 文字以上とする必要がある場合や」の記述を削除	
10.2 事前協議チェックシート	61		62	拡張子例 P21 に P2Z を追加	P2Z の追加

10.2 事前協議チェックシート	61		62	ICON フォルダの追加	ICON の追加
10.3. 用語解説	64	CORINS (コリンズ、Construction Records Information Service) 「工事実績情報サービス」の略称です。CORINS は、公共事業の入札・契約において、透明性・客観性・競争性を確保することを目的に、公共事業発注機関が共同で利用できる公共実績情報サービスです。(財)日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、建設企業からの工事カルテの登録を基に工事実績情報のデータベースを構築し、各公共工事発注機関へ情報提供を行っています。 CORINS からの情報提供により、発注者は、建設企業の工事実績の把握及び技術力の適正な評価を行うことができます。また、受注者にとっても、自社の工事実績情報が公共工事発注機関に届きますので、営業支援の役割を果たします。	69	コリンズ (Construction Records Information System) コリンズは、公共事業の入札・契約において、透明性・客観性・競争性を確保することを目的に、公共事業発注機関が共同で利用できる工事実績情報システムです。(一財)日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、建設企業からの工事カルテの登録を基に工事実績情報のデータベースを構築し、各公共工事発注機関へ情報提供を行っています。	CORINS 名称変更 コリンズの説明変更 一般財団法人への変更
10.3. 用語解説	65	ISO9660 フォーマット ISO で規定される CD-R 等での標準的なフォーマットのひとつです。 特定の OS (オペレーティングシステム)、ハードウェアに依存しないため、このフォーマットの CD-R は、ほとんどの PC の OS 上で読み込むことができます。 ISO9660 フォーマットにはレベル 1 からレベル 3 までの段階があり、電子納品に関する要領・基準では、長期的な保存という観点から、ISO9660 フォーマットの中でも OS 間での互換性が最も高い「レベル 1」を標準としています。ただし、レベル 1 の場合、ファイル名等の規則は厳しく、「名前+拡張子」の 8.3 形式のファイル名で、使える文字は半角アルファベットと 0~9 の数字、「_」(アンダースコア)に限られ、ディレクトリ名は 8 文字までの制限があります。	66	ISO9660 フォーマット ISO で規定される CD-R 等での標準的なフォーマットのひとつです。 特定の OS (オペレーティングシステム)、ハードウェアに依存しないため、このフォーマットの CD-R は、ほとんどの PC の OS 上で読み込むことができます。 ISO9660 フォーマットにはレベル 1 からレベル 3 までの段階があり、電子納品に関する要領・基準では、長期的な保存という観点から、ISO9660 フォーマットの中でも OS 間での互換性が最も高い「レベル 1」を標準としていました。ただし、レベル 1 の場合、ファイル名等の規則は厳しく、「名前+拡張子」の 8.3 形式のファイル名で、使える文字は半角アルファベットと 0~9 の数字、「_」(アンダースコア)に限られ、ディレクトリ名は 8 文字までの制限があり、ワープロソフト等で一般的になった 4 文字の拡張子に対応できないため、Joliet に移行しました。	CD-R のフォーマットを変更
10.3. 用語解説	65		66	Joliet (ジョリエット) マイクロソフト社が設計した、ISO9660 の拡張規格であり、1 文字 2 バイトで表現する Unicode を採用し、128 バイト (64 文字) までの長いファイル名に対応しています。流通しているほとんどの OS が対応しており、Joliet を利用できないシステムでも ISO 9660 レベル 1 として読み込めるようになっていたことから、ワープロソフト等で一般的になった 4 文字の拡張子に対応するため、電子納品に関する要領・基準での標準として採用しました。	CD-R のフォーマット変更に伴い説明を追加

10.3. 用語解説 〈新規追加〉	65		66 OCF 検定 OCF 検定は、(一社)オープン CAD フォーマット協議会が実施する、CAD ソフトウェアやビューアの SXF 仕様への準拠性を検定するものです。この検定に合格した CAD ソフトウェアやビューアは、SXF データの互換について一定の基準が満たされていることから、目視確認等において、OCF 検定合格のビューア等を使用することとしています。検定内容の詳細については(一社)オープン CAD フォーマット協議会のホームページを参照してください。 http://www.ocf.or.jp/	OCF 検定についての説明追加
10.3. 用語解説	66	SXF P21ファイルは国際規格であるISO10303/202に則った形式であるため、自由なデータ交換が可能となるように、描画要素に特化したフィーチャから構成されるデータ構造をもっています。SFCファイルはフィーチャコメントと呼ばれる国内だけで利用できるローカルなデータ構造を持っています。データ構造の違いからP21ファイルはSFCファイルに比べデータ容量が大きくなります。	67 SXF P21 ファイルは国際規格である ISO10303/202 に則った形式であるため、自由なデータ交換が可能となるように、描画要素に特化したフィーチャから構成されるデータ構造をもっています。SFC ファイルはフィーチャコメントと呼ばれる国内だけで利用できるローカルなデータ構造を持っています。データ構造の違いから P21 ファイルは SFC ファイルに比べデータ容量が大きくなります。 また、P21 形式の ZIP による圧縮形式である P2Z 形式、SFC 形式の ZIP による圧縮形式である SFZ 形式があります。	圧縮形式ファイル説明の追加
10.3. 用語解説	66	SXF ブラウザ SXF 対応CAD ソフトによって作成されたSXF 形式 (P21、SFC) の図面データを表示・印刷するためのソフトウェアで次のURLでダウンロードすることのできる無償提供のツールです。CAD ソフトと違い、編集の機能はありません。SXF ブラウザは、電子納品Web サイトからダウンロードすることができます。 http://www.cals-ed.go.jp/index_dl2.htm また、CAD データ交換標準開発のWeb サイトからも上記サイトにリンクが張られています。 http://www.cals.jacic.or.jp/cad/developer/SXFBrowserDownload.htm	67 SXF ビューア等 SXF ビューア等は、SXF 表示機能及び確認機能要件書(案) (平成 21 年 3 月) に従って開発され、OCF 検定に合格した SXF 形式 (P21、SFC) 図面データが閲覧可能な閲覧ソフト及び CAD ソフトです。オープン CAD フォーマット評議会の Web サイトにある OCF 検定認証ソフト一覧 (以下の URL) で市販の SXF ビューア等が紹介されています。 http://www.ocf.or.jp/kentei/soft_ichiran.shtml SXF ブラウザが 2014 年 4 月 9 日をもって提供を終了したことから、今後、SXF データの表示や印刷等は、SXF ビューア等を利用してください。	SXFブラウザの公開停止

10.3.用語解説	66	TECRIS (テクリス、Technical Consulting Records Information Service) 「測量調査設計業務実績情報サービス」の略称です。TECRISは、コンサルタント企業等の選定において手続きの透明性・客観性、競争性をより高めつつ、技術的に信頼のおける企業を選定するための業務実績情報サービスです。(財)日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、コンサルタント企業等からの業務カルテの登録を基に業務実績情報のデータベースを構築し、各業務発注機関へ情報提供を行っています。 TECRIS からの情報提供により、発注者は、建設企業及び技術者の業務実績の把握及び技術力の適正な評価を行うことができます。また、受注者にとっても、自社の業務実績情報が公共工事発注機関に届きますので、営業支援の役割を果たします。	71	テクリス (Technical Consulting Records Information System) テクリスは、コンサルタント企業等の選定において手続きの透明性・客観性、競争性をより高めつつ、技術的に信頼のおける企業を選定するための 業務実績情報システム です。(一財)日本建設情報総合センターが公益法人という立場で、コンサルタント企業等からの業務カルテの登録を基に業務実績情報のデータベースを構築し、各業務発注機関へ情報提供を行っています。	TECRIS 名称変更 テクリスの説明変更 一般財団法人への変更
10.3.用語解説 <新規追加>	67		68	UDF 2.6 2.6はUDFのリビジョンです。BD-Rで採用されます。	BD-Rの追加に伴い説明追加
10.3.用語解説	69	・日本測地系 2000 日本測地系2000とは、世界測地系のうち我が国が構築した部分の名称をいいます。命名に当たっては、我が国の測地基準系であること、二千年紀の初頭に構築されたことを意識しています。	70	・ 世界測地系 (JGD2000) と世界測地系 (JGD2011) 世界測地系 (JGD2000) とは、世界測地系のうち我が国が構築した部分の名称をいいます。命名に当たっては、我が国の測地基準系であること、二千年紀の初頭に構築されたことを意識しています。 世界測地系に移行した 2002年4月から 2011年10月までの日本の公式測地系でした。 世界測地系 (JGD2011) とは、東北地方太平洋沖地震による地殻変動で、測量法施行令が 2011年10月に改正されたことに伴って命名された測地基準系の名称です。	世界測地系 (JGD2011) の用語解説の追加。 測地系名称の変更。
10.3.用語解説	72	レイヤ CAD製図基準(案)	73	レイヤ CAD製図基準	最新の基準に変更